

めざす児童生徒像

〈学校教育目標〉	<b>自らつながり学ぶ子の育成</b>
〈目指す児童像〉	あたたかい子・・・相手を理解し相手の立場を思いやれる子 たくましい子・・・心身ともに健やかで、チャレンジできる子 かしこい子・・・知識を活用し、自ら学びに向かう子

※児童生徒結果－教員結果・保護者結果

項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
			教員	児童生徒	保護者			
(学校重点項目) 自己肯定感の向上	・①・②の児童アンケートの肯定的回答を100%にする	① 学校生活を楽しんでいる。						
		② よりよいつながりのために、自らあったか言葉を使ったりあったか行動をしたりしている。						
		集計						

項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
			教員	児童生徒	保護者			
業務(働き方や改善)	・①・②ともに肯定的回答を90%以上にする	① 学校組織の中での自分の役割を果たすために、組織的に(相談・共有し)取り組んでいる。						
		② 80時間越えゼロに向け、時間外勤務時間が減るよう心掛けて行動している。						
		集計						

項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
			教員	児童生徒	保護者				
小松市共通重点項目	学校研究	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、具体的な取組を共通実践している。							
		② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。							
		集計							
	指導力の向上	・研究主題である「自律した学び手の育成」のために、①の肯定的回答を90%以上にする ・④の肯定的回答を中間85%以上、年度末90%以上にする	① <b>児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。</b>						
			② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができている。						
			③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
			④ <b>児童生徒は、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。</b>						
			⑤ 児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、友達と考えを共有したり比べたりすることができている。						
	集計								
	学力の向上	・②教員の肯定的回答を85%以上にする ・③教員の肯定的回答を中間90%以上、年度末95%以上にする	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。						
			② <b>児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。</b>						
③ <b>全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。</b>									
④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)									
集計									
学習方法	・①と②ともに児童の肯定的回答の割合を80%以上にする	① 児童生徒は、分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。							
		② 児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、自分のペースで理解しながら学習を進めることができている。							
		集計							